



一体感のある組織づくりをすすめるためには

所長 春日 仁史



本年度も残り半月となりました。各学校では子どもたちのよりよい成長のために、教職員の皆さんはもちろん、保護者や地域の皆さんと一体となって取り組まれた1年であったと推察し、敬意を表します。

ロンドンオリンピックで銀メダルを獲得した「なでしこジャパン」の監督佐々木則夫氏の講演を聴く機会に恵まれました。わかりやすく、歯切れのいい話に引き込まれ、この話術をして世界一のチームにまとめ上げることができたのだろう、ユーモアがあり、優しく、そして強さを感じる監督の人柄に選手、スタッフが惹かれていくのだろうと思いながら聴いていました。

講演で、なでしこビジョン『世界のなでしこになる』ために3つの目標

- 1 サッカーを日本女性のメジャースポーツにする
- 2 なでしこを世界のトップクラスにする
- 3 世界基準の「個」を育成する を掲げ、選手たちには「なでしこ」らしさ

- 1 ひたむき 2 芯の強さ 3 明るい
- 4 礼儀正しい

そして、「リスペクトと感謝の念を大切にすること」を求めながら、各地域で計画的、組織的に育成していただいた成果であるという話がありました。人を立てるという謙虚な姿勢に監督の一面を見ました。

なぜ夢を叶えることができたかという話になると、監督の人柄に魅力を感じずにはいられませんでした。

- 1 目標設定：目標は高く もちろん「金メダル」
- 2 妥協を許さず、目標がぶれない

ある国際大会の準決勝戦で疲れた選手たちが決勝戦の前日、練習のオフを申し出た時のことです。選手、スタッフ全員で大会の目標を改めて確認することで選手は納得し、練習に打ち込んだそうです。また、監督のぶれない強さはオリンピック予選で決勝トーナメントを考え、

2位通過を選択した場面にも感じました。

- 3 選手主導で任せる
自主性が選手を成長させ、団結力を強固にする。
- 4 選手に「気づき」を大切にさせる
選手自身が状況を判断し、その場に応じた立ち振る舞いができるようにする。

チーム発足当初は、指導陣主導で徹底して原理、原則を指導し、選手たちが多くの引き出しをつくり、入れさせることに力を入れ、一定段階になったところで選手主導の練習を多くし、選手同士がコミュニケーションを通して、原理、原則にふり返りながら共通理解すること、実践することを重視したということです。

5 指導陣（スタッフ）の充実と健康的な活動の徹底

選手がけがを負わないように、コーチ、スタッフが念なミーティングをして、選手一人一人の状況をみて万全の準備をしていたそうです。

監督として、最も大切にしていたのは、選手やスタッフとのコミュニケーションであり、

- ・ 共感すること、ほめること
- ・ 傾聴すること
- ・ 選手に問いかけて答えを導き出すこと

を心がけたそうです。

後ろ姿でチームを引っ張る澤選手がキャプテンの時は監督自身、意識的にユーモアある言葉かけをし、説得力のある話ができる宮間選手がキャプテンの時は言葉数を少なめたそうです。監督が選手の人となりを理解しながら引き立てると感じ、なでしこジャパンにはチーム全体に「リスペクトと感謝の念を大切にすること」精神が宿っている。だからこそ、観ている人に感動と元気そして勇気を与える偉業が達成できたのだと確信しました。

選手を学級や学校の子もたちと、スタッフを教職員等と置き換えてみると学校組織でも参考になるのではないかと思います。

組織が明確な目標を掲げ、その達成に向けて取り組むとき、リスペクトと感謝の念をもちながら丁寧にコミュニケーションしていくことがいかに大切であるか再認識しました。「一体感のある組織づくり」は、次年度以降も深化したいテーマであります。

各指定事業の成果

平成 24 年度 道徳教育総合支援事業 浜田市立旭中学校区の認定こども園，小学校，中学校

【あさひ子ども園・今市小学校・和田小学校・市木小学校・旭中学校】

◆研究の概要

浜田市の共通課題「進んで人間関係をつくる力をはぐくむ道徳教育」に基づき、「粘り強い心」「自己を肯定する心」「感謝の心」「他者に温かな気持ちで関わろうとする心」の4つを旭中学校区における重点として、道徳教育の推進に取り組みました。

◆取組の概要

○既存の小中一貫教育の組織を活用して実践

小中一貫教育推進委員会・・・全体計画の立案や保護者・地域への情報発信

★全教職員が3つの部会に所属し、地域内の共通性や各校の独自性を大切にしながら実践

生活習慣づくり部会

授業づくり部会

交流づくり部会

(よりよい生活習慣の定着)

(道徳の時間の充実)

(よりよい人間関係づくり)

★地域の教育資源「ひと・もの・こと」を有効に活用した交流及び体験活動の工夫

○浜田市道徳教育推進協議会の創設

取組への助言や検証・市内への普及

★保護者や地域と連携，教育委員会や子育て支援課との連携

○客観性のある成果検証（道徳性検査の実施）と成果普及の工夫



地域人材を活用した授業



成果普及用 DVD 作成

◆成果

○各校園や公民館等が互いに連携して取り組むことで、共通の目標に向かい実態に応じた取組を推進することができました。

○道徳の授業づくりについての教職員研修会を開催したり，全小中学校で授業研究会を開催したりするなど，道徳の時間における指導力の向上を図ることができました。

○道徳性検査の結果から，児童生徒の道徳性について望ましい傾向にあることを確認することができました。

平成 24 年度 ^{いえべん}家勉充実プロジェクト 【浜田市立第二中学校】

◆研究の概要

学習に向かうための意欲を高めることをねらいの中心として，自分から進んで家庭学習に取り組む生徒の育成を目指し，キャリア教育とも関連を図って取り組みました。

◆取組の概要

○家勉講演会の実施

首都大学東京・特任准教授佐々木宏氏による講演を10月に実施。今求められている『人財』の話から，今すべきこと，自分の力を生かすこと，学ぶ事の大切さなどについてお話いただきました。

○ワークシート『七日坊主宣言』をとおした取組

講演講師の佐々木氏の提案により，ワークシート(7日間の学習計画・記録)を活用した生徒同士のペアコーチングによる学習の計画・振り返りを取り入れました。

○学習の手引の作成

生徒が何を勉強したらよいか自分で見つけられるように，家庭学習の仕方や内容を具体的に示しました。テスト勉強と普段の日の学習内容を区別して作成しました。

○キャリア教育の視点をおいた授業の展開

自分自身や将来について考える場面を作ることで，学習意欲の向上を図りました。



ペアコーチングの様子

◆成果

○生徒の中に，自分の将来を見通し，自ら進んで学習に取り組もうとする意識の高まりが見られました。

○学習時間調査の結果，本プロジェクトの取組前と比較し，約7割の生徒の学習時間が増えました。これまでほとんどゼロだった生徒が，家庭学習に取り組むようになったケースもありました。

平成 22 年度～24 年度 不登校に対する未然防止実践モデル地域指定事業

【浜田市立第一中学校・浜田市立石見小学校・浜田市立三階小学校】

◆事業の概要

アンケート QU を取り入れた校内の組織的対応（学級づくり、個別支援など）についての取組を進めてられました。これは、不登校等生徒指導上の諸課題に対する未然防止の観点から「児童生徒・学級集団への組織的対応の実践」を評価・検証し、その成果を広く普及するための事業です。

◆取組の概要

小学校は 4～6 年生、中学校では 1～3 年生がアンケート QU を行い、その結果から校内の組織的な対応を検討し実践する。

◆成果（これまでの実践を報告する会 H25.1.22 より）

	組織的な対応の一例	取組を通して得た成果
浜田一中	○学校生活意欲プロフィールを活用した分析 〔例〕・担任と養護教諭が連携し、本人の気持ちを受け止める体制を整えた。	・QU をもとに全職員で事例研究。 ・さまざまな角度から分析し、生徒理解に役立てる。
石見小	○QU の結果を受け、担任の観察や面談と合わせながら効果的な取組を考えていく。 〔例〕・帰りの会に「さよならじゃんけん」 ・ルールの徹底	・学級経営の見直しや支援体制づくりができた。 ・継続して活用することで、変化する学級の実態が見えてきた。
三階小	○プロット図を活用した分析を進める。 〔例〕・学級のルールの確立が必要である。 ・話し合いにより児童が自分たちでルールを考える。	・データをもとにして学年部や全校体制で対応できた。 ・詳細に分析することで具体的な対応につなげることができた。

ご存知ですか？

休日及び休暇の取り方について

平成 24 年 3 月 1 日から「県立高等学校等の教育職員の休日及び休暇に関する条例，規則の運用について」の一部が改正され、「私傷病休暇に、医師の診断に基づき不妊治療を受ける場合」が含まれることになりました。

この他、「県立高等学校等の教育職員の休日及び休暇に関する規則」の一部が改正され、平成 24 年 4 月 1 日から「妊娠障害休暇を与える期間については、10 日（週休日等を除く。）を超えない範囲内で必要と認める期間」に改正されています。

さらに、週休日等をはさんで休暇を与えられた場合、当該週休日等を休暇日数として取り扱わない休暇に、男性育児参加休暇、子の看護休暇、短期介護休暇、ボランティア休暇等が加えられました。

いじめ相談テレフォン

平成 25 年 1 月 7 日よりいじめに関する相談電話の名称を「いじめ 110 番」から「いじめ相談テレフォン」へ変更しました。



ふるさと読本

「もっと知りたい しまねの歴史」



島根の古代から近代までの歴史や文化を 22 のテーマで紹介しています。子どもたちが島根の歴史や文化を正しく理解し、ふるさと島根への愛着を深め、ふるさとを誇りに思う心を育みましょう！

ふるさと読本

「いずも神話」朗読 CD

朗読は戸田恵子さんです。小学校 2 年生国語の神話や昔話の学習、小・中学校の歴史学習、絵画の制作や演劇などさまざまな教育活動での活用を！

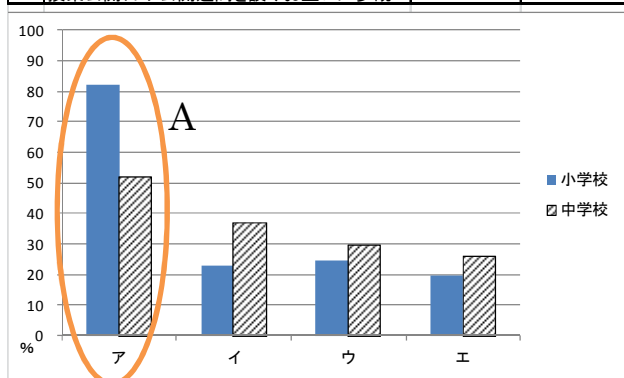


学校訪問指導を終えて ～校内研究・授業改善に関するアンケートより～

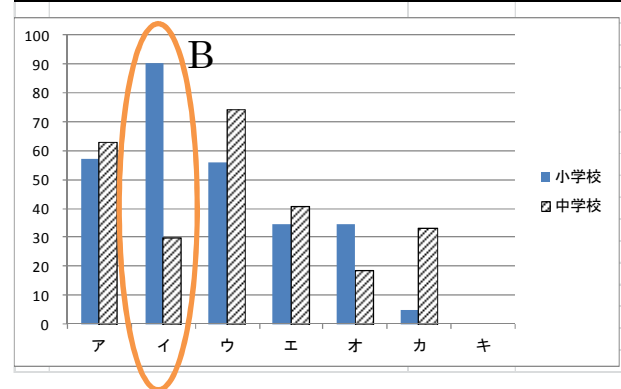
2月から3月上旬にかけて、市町担当指導主事による学校訪問指導（最終回）を実施し、授業改善や教育研究、校内研究に関わる今年度の取組状況や成果と課題、次年度の見通しについて説明、協議を行いました。お忙しい中、協議時間の調整をいただきありがとうございました。その中で、「校内研究・授業に関するアンケート」にお答えいただきましたが、それぞれ自校にあった取組を工夫し、授業力向上に取り組んでおられる様子がよく分かりました。結果をまとめたものを掲載しましたので、来年度の研究推進の参考にしてみてください。

★浜田管内の小・中学校 88校（小学校61校・中学校27校）対象（表内の数字は「校数」、グラフ内の数字は「%」）

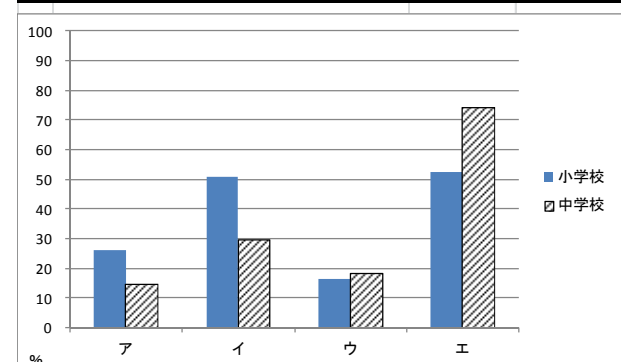
1. 研究授業の実施体制		小学校(校)	中学校(校)
ア	全教員が研究授業を実施	50	14
イ	教科や学年等の代表が研究授業を実施	14	10
ウ	初任研、経験者研修等の研究授業を活用	15	8
エ	授業公開日や公開週間を設けお互いに参加	12	7



2. 研究授業の指導案の検討		小学校(校)	中学校(校)
ア	教科会や学年会等で事前検討	35	17
イ	全教員で検討	55	8
ウ	校長等が指導	34	20
エ	指導主事等が指導	21	11
オ	先行授業や模擬授業を実施	21	5
カ	指導案配布のみ	3	9
キ	指導案も略案もなし	0	0



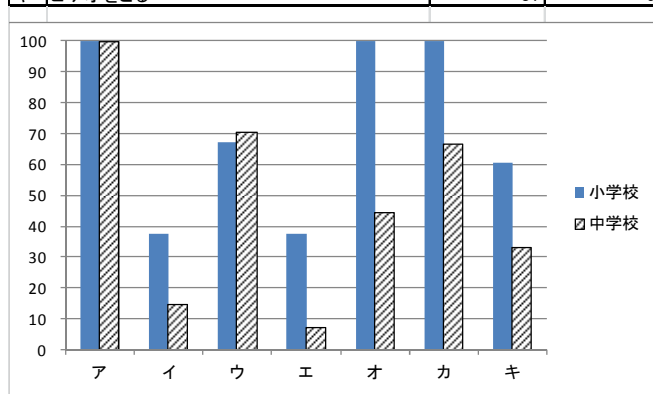
3. 研究授業の参観体制		小学校(校)	中学校(校)
ア	児童生徒は下校して全員で参観	16	4
イ	自習体制を組み全員で参観	31	8
ウ	該当教科や学年の関係教員のみ参観	10	5
エ	授業のない教員が参観	32	20



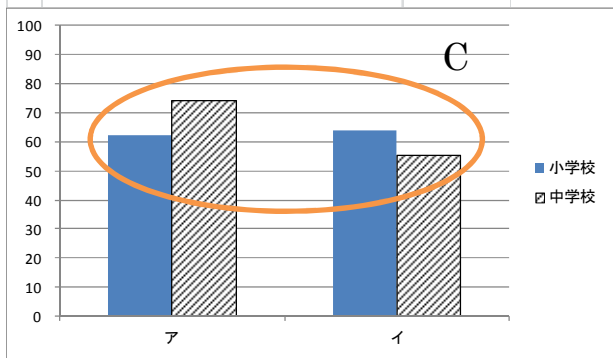
前回の事務所だよりでもお伝えしましたが、わたしたち教員は学び続けることが求められ、学校ではOJTの機能の充実が叫ばれています。OJT (On the Job Training) とは、日常の業務を通して行われる人材育成のことです。「上司や先輩が部下や後輩に対して仕事を通して職務に必要な能力（知識・技術・技能・態度）を計画的・意識的・重点的に育成する努力の過程」とも説明されるように、わたしたちは各学校における日々の仕事を通して資質能力の向上を図り、それぞれの立場から学校経営の協働参画意識を高められるようにしていくことが大切です。

教科指導、生徒指導、学級経営等を的確に実践できる力は授業の中でも磨かれます。そして、授業力の向上を図るには校内でどんな研究授業、授業研究を実施するかが大きなカギを握ります。今回のアンケート結果を見ると、全教員が研究授業を行ったり (A)、指導案の事前検討もきちんと行ったりする (B) など、学校の実態に合わせ、学校全体で計画的に学びの機会をつくる努力をされているのを感じました。

4. 研究授業を参観する際に行っている工夫		小学校(校)	中学校(校)
ア	指導案を参加者に配布	61	27
イ	座席表を配布	23	4
ウ	付せんや授業評価シートを配布	41	19
エ	抽出児童・生徒を設定	23	2
オ	授業記録をとる	61	12
カ	写真をとる	61	18
キ	ビデオをとる	37	9



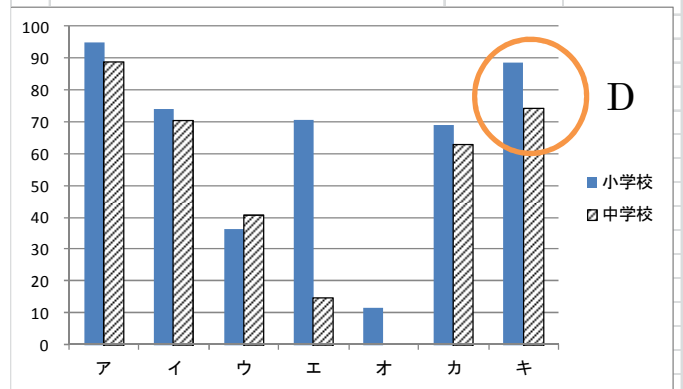
5. 事後の授業研究の実施方法		小学校(校)	中学校(校)
ア	会議型	38	20
イ	参加型	39	15



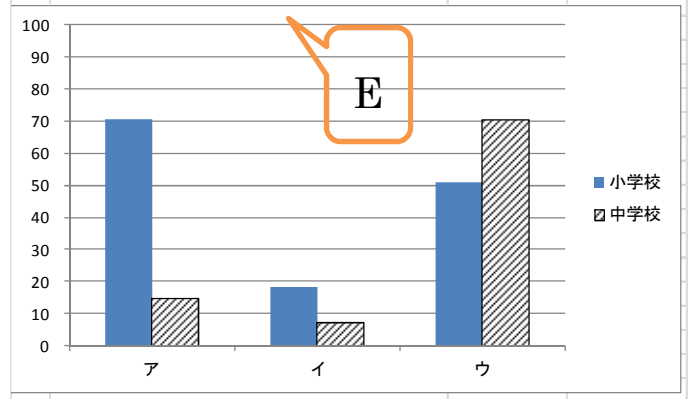
(C) これまで、全教職員による参加型の協議を行っていただきたいとお願いしてきましたので、参加型の協議は増えていきましたが、ここ最近では学校によって参加型から会議型へと変更する学校も見られるようになり、その学校にあった協議方法を模索している様子も見られます。

限られた時間で有意義な協議をするためには様々な工夫が必要です。そのポイントは「協議の視点の周知、明確化」「会議型、参加型の特徴を踏まえた工夫」「研究主任等の力量、進行の仕方」「職員集団の雰囲気・意識」ではないでしょうか。特に、今回多くの学校で、普段から何でも言える雰囲気づくりを心がけ、協議では全員が発言できるようにしているという声が多く聞かれました。(D)

6. 有意義な協議をするための工夫		小学校(校)	中学校(校)
ア	視点の明確化	58	24
イ	協議の流れや時間の提示	45	19
ウ	授業者、司会者等の事前打合せ	22	11
エ	授業記録の活用	43	4
オ	写真やビデオの活用	7	0
カ	付せんや授業評価シートの活用	42	17
キ	全員が発言できる雰囲気づくり	54	20



7. 研究の成果をまとめ、共有する方法		小学校(校)	中学校(校)
ア	研究紀要等文書を作成して共有	43	4
イ	研究成果発表会等を実施して共有	11	2
ウ	研究部等で成果と課題をまとめて報告し共有	31	19



授業を公開することは、エネルギーのいることです。その授業が提供されたことによって学べるという感謝の気持ちを根底に持って話し合っている学校、教職員がお互いを認め合い、支え合う雰囲気のある学校は充実した協議になるように思います。

(E) 多くの学校で、研究の成果をまとめ、その学校に合った方法で共有が図られていました。学習に関する資料をまとめ、ファイリングして全教員にCDデータ付きで配布している学校、全員がパソコンでプレゼン資料を作成し研究成果校内発表会をしている学校、普段から「研究通信」を発行して情報の共有をしている学校等、いろいろな工夫をお聞きしました。一番大切なのは、これが来年度の研究推進や自身の学びに結びつくことだと思います。今年度のまとめの時期にあたり、何のための成果のまとめなのかを全員で共有することが、疲労感と多忙感の軽減につながるのではないのでしょうか。

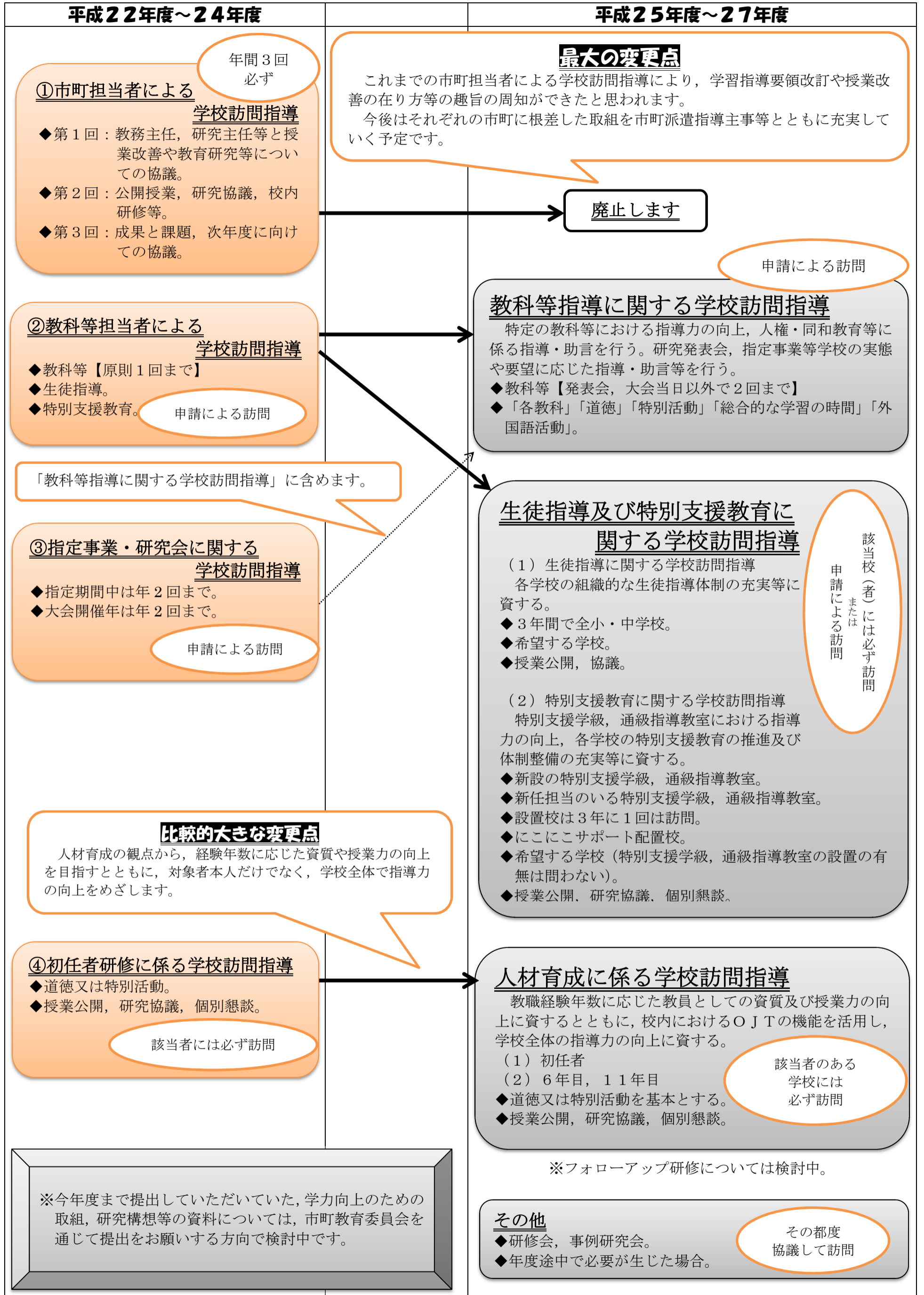
学校訪問指導（公開授業を伴うもの）をする中で、校内研究等の体制が整い、教職員の研修、研究推進に対する意識が高い学校が多くなったと感じます。浜田教育事務所内で、「教職員の研修、研究に対する意識を高める原動力とは何か」を協議したことがあります。そのときに出た意見をまとめると、「教育に対する願いや思い」「管理職や研究主任等のリーダーシップ」「教職員間の良好な人間関係」という3つになりました。

みなさんはこの3つの『原動力』をどう考えられますか？

みなさんの学校の『原動力』は何でしょうか。

来年度から事務所の学校訪問指導の形を変更したいと考えています。次ページに変更点(案)をまとめておりますのでご覧ください。

平成25年度以降の学校訪問指導について(案)



【正式な詳しい内容は，新年度に配付する「平成25年度学校訪問指導計画」でお知らせします。】

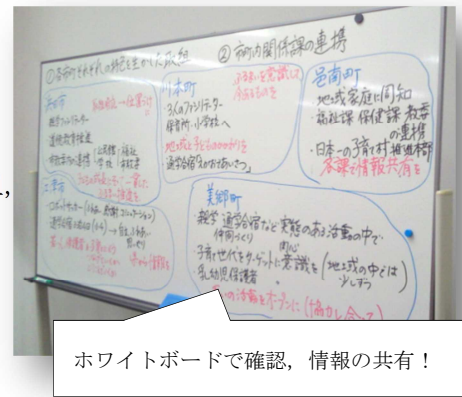
平成25年度 管内事業計画及び各種研修会等 (3/12現在)

月	日	曜	予 定 事 業 名	会 場
4	19	金	初任者研修連絡協議会Ⅱ	松江合同庁舎
	23	火	管内前期進路保障連絡協議会	川本合同庁舎
	24	水	全国学力学習状況調査	各学校
	25	木	期限付き講師・非常勤講師等研修会	浜田教育センター
5	9・10	木・金	島根県学力調査	各学校
	16	木	人権・同和教育主任等研修	浜田教育センター
	17	金	小・中学校教務主任研修	浜田教育センター
	21	火	小・中学校キャリア教育担当者研修	浜田教育センター
	23	木	小・中学校新任校長研修①	島根県教育センター
	23	木	小・中学校新任教頭研修①	島根県教育センター
	28	火	生徒指導主任・主事等研修	浜田教育センター
	29	水	小・中学校新任研究主任等研修	浜田教育センター
	30	木	小・中学校日本語指導が必要な児童生徒在籍学校担当教員研修	出雲合同庁舎
	30	木	小・中学校特別支援学級、通級指導教室新任担当教員研修①	浜田教育センター
	31	金	教育施策説明会(小中学校長)	浜田教育センター
31	金	中学校数学科・保健体育科・音楽科教科指導リーダー養成研修①	島根県教育センター	
6	4	火	にこにこサポート事業配置校担当者研修会	浜田教育センター
	10	月	小・中学校新任教頭研修②	島根県教育センター
	18	火	スクールカウンセラー活用事業連絡協議会	浜田教育センター
	24	月	小・中学校校長研修Ⅰ	浜田教育センター
	25	火	第1回管内進路保障推進者研修会	浜田合同庁舎
	25	火	新任特別支援教育コーディネーター研修	浜田教育センター
7	1・2	月・火	中学校音楽科教科指導リーダー養成研修②	浜田教育センター
	2	火	小・中学校特別支援学級・通級指導教室新任担当教員研修②	学校会場
	8・9	月・火	中学校数学科・保健体育科教科指導リーダー養成研修②	島根県教育センター
	8・9	月・火	小・中学校事務主幹研修	島根県教育センター
	9	火	小・中学校教頭研修Ⅰ	浜田教育センター
	9	火	小・中学校特別支援学級、通級指導教室新任担当教員研修(通級指導教室担当)	島根県教育センター
	12	金	養護教諭研修	島根県立大学浜田キャンパス
	24・26	水・金	小・中学校新任事務リーダー研修 1日目(島セ)2日目(浜セ)	島根県教育センター他
	26	金	小・中学校事務リーダー研修	浜田教育センター
	26	金	小・中学校事務職員主幹研修	浜田教育センター
30・31	火・水	小・中学校新任教頭研修③	島根県教育センター	
31	水	小・中学校学校経営基礎研修①	島根県教育センター	
8	1	木	学校図書館活用教育研修	浜田教育センター
	2	金	中学校社会科授業力向上研修①・中学校外国語科(英語)授業力向上研修①	島根県教育センター
	5	月	中学校数学科・保健体育科教科指導リーダー養成研修③	島根県教育センター
	5	月	学校と地域の連携実践講座	いわみーる
	16	金	健康教育(学校安全)研修	浜田教育センター
	26	月	第2回管内進路保障推進者研修会	川本合同庁舎
9	10	火	初任者研修連絡協議会Ⅲ	浜田教育センター
	10	火	小・中学校事務職員主事研修	島根県教育センター
	13	金	中学校音楽科教科指導リーダー養成研修③	浜田教育センター
	18	水	小・中学校新任校長研修②	島根県教育センター
10	4	金	小・中学校特別支援学級、通級指導教室新任担当教員研修③	浜田教育センター
	4	金	栄養教諭研修	松江合同庁舎
	17	木	小・中学校通級指導教室担当教員等研修	浜田教育センター
	22	火	県特別支援教育研究大会(江津大会)	江津市 各学校
	25	金	県教育研究大会(浜田大会)	浜田市 各学校
	29・30	火・水	中学校体育教員武道研修会	県立石見武道館
	30	水	小・中学校校長研修Ⅱ	浜田教育センター
11	7・8	木・金	中国地区学校図書館研究大会(浜田大会)	浜田市 各学校
	8	金	新任教職員研修実施協議会	島根県教育センター
	19	火	小・中学校教頭研修Ⅱ	浜田教育センター
	25	月	小・中学校新任校長研修③	島根県教育センター
12	13	金	第3回管内進路保障推進者研修会	川本合同庁舎
1	23	木	中学校数学科・保健体育科・音楽科教科指導リーダー養成研修⑤	島根県教育センター
	24	金	中学校社会科・外国語科(英語)授業力向上研修②	島根県教育センター
	27	月	小・中学校新任教頭研修④	島根県教育センター
2	21	金	小・中学校学校経営基礎研修②	島根県教育センター
	25	火	管内後期進路保障連絡協議会	川本合同庁舎
3	25	火	初任者研修連絡協議会Ⅰ	浜田教育センター

※現時点での予定ですので、変更になる場合があります。3月末に島根県教育センターから研修に係る文書(「教職員研修日程一覧」等)が配付されますので、ご確認ください。

広がっています 島根のふるまい

「ふるまい向上プロジェクト 第2回浜田地区協議会」(平成25年2月12日)では、各市町それぞれの特色を生かしたふるまい向上に向けた取組、工夫について情報交換・意見交換を行いました。その中で、各市町の多様な取組、成果が報告され、大変盛り上がる協議となりました。第1期(H22~H24)での成果を次の第2期へつなぐための意義ある協議会となりました。



ホワイトボードで確認、情報の共有!

来年度からふるまい向上プロジェクト第2期(H25~H27)【しまねのふるまい推進プロジェクト】に入ります。第2期は、「子どもとその保護者、さらにすべての世代へのふるまいの定着」「家庭教育および子育ての支援の充実」をねらっています。第2期への架け橋となるよう、3月9日からは「しまねのふるまい推進キャンペーン」もはじまりました。テレビでもふるまいCMが放映されましたがご覧になりましたか?

その他にも、次にあげたような「ふるまい向上県民運動」の推進をはかるための取組をしました。



わがまちふるまい自慢ポスター作成

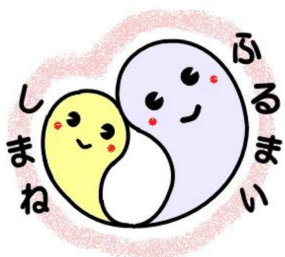
夏には「わが校ふるまい自慢ポスター」を作成しましたが、今回の目的も市町村が進めている特色ある教育を、地域住民をはじめ県内の人たちへ周知するためです。写真、キャッチコピーが入ったそれぞれの市町ごとのポスターをこれから町のどこかで見かけることもあると思います。

ショッピングセンター等での チラシ、バッジの配布

ポスター、テレビCMと同時期に各市町の街頭でチラシ配りをする事で、多くの県民のみなさんへ周知がなされることをねらって行いました。



●配ったチラシの中には
こんな紹介も...



名前 フルちゃん&マイちゃん
 仕事 しまねのふるまいの推進
 得意なことは? ・正しい生活習慣 ・あいさつ
 ・礼儀作法 ・ルールを守ること
 ・相手を思いやること など
 なぜこんな姿?
 おとなと子どもがお互いの姿を見て、ともに成長していき、しあわせ(ハート)になるように
 気になること
 私たちのことがまだあまり知られていないこと
 好きな言葉
 見てまねて 感じて育つ 島根のふるまい

★自立して生きる、人とともに生きることが
 できる人材育成、社会・地域に
 貢献できる人材の育成をめざし...
 住みよい島根になるように県民全員
 で「しまねのふるまい」を定着させて
 (あたりまえのことがあたりまえに
 できるようにして)いきましょう!!

☆☆☆事務所だよりカラー版を島根県教育庁浜田教育事務所 HP に掲載していますのでご覧ください☆☆☆